



会長 古賀 健一郎
副会長 古田 和彦
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古田 和彦

国際会長 (IP) Kim Sang-chaе (Korea)

“Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長 (AP) 大野 勉 (神戸ポート)

“Make a difference beyond the 100th”

「100年を越えて変革しよう」

東日本区理事 (RD) 大久保 知宏 (宇都宮)

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

“Think for the next generation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「咲かそう 人の輪〜明るく・楽しく・元気よく〜」

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「今こそ『すべての人を一つにして下さい』(ヨハネ17章)を覚え、平和への行動を！」

“Now, keeping 『All be one with each other』 (John 17), Act for peace!”

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 青木 英幸

<今月の聖句>

押川 沢江

「あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」

(ルカによる福音書2章12節)

今月のひとこと

「ワクチン非接種をめぐる諸問題」

齋藤 宙也



今回はワクチンの問題を取り上げた。

本来、ワクチンは、日本では任意とされている。ワクチンを接種したからといって、感染したりさせたりすることがなくなるわけではないようである。

ただ、重症化を防ぐ効果があるのは、ほぼ確実に考えられる。一方、副反応は、接種日の夜から翌日にかけて熱が出るとか、腕が上がらないという人がほとんどである。そのくらいであれば、数日我慢すれば済む話である。しかし、死亡するとなると、話は別である。

今のところ、ワクチン接種後に死亡したからといって、因

果関係が認められた例はない。日本はもとより、世界でも、ないことになっていると思われる。医学的には、接種後死亡のケースの大部分は「因果関係が評価できない」と表現されるようである。しかし、そうだとすると、その人は、ワクチンを打たなくても、1週間とか1か月後にたまたま死んだということになるのではないか。医学的にはそういう意味でないのかもしれないが、素朴にはそう感じる。

ワクチン接種後の死亡者の割合は、メーカーなどによって異なるが、おおむね、10数万回に1人である。これを高いと見るか低いと見るかは、人それぞれであろう。しかし、飛行機が落ちる確率は、—場面や国などによっていろいろな数字があるが—少なくとも100万フライトに1回以下である。数字だけの比較だが、飛行機の事故率よりはかなり高い。まして、2回接種すれば、単純計算で、5万人強に1人は死亡することになる。まして、これからブースター接種するとなると...

人間は、ベネフィットよりリスクを重く見る習性があるら

押川メネット 今月の聖句について

・救い主イエスさまのお生まれになった時に寝かされたところが飼葉桶であったと聖書は伝えています。そこは家畜の餌の入れ物であり、本来赤ちゃんが寝るところではないはずですが、しかし、神さまはこのことが私たちにとっての救いのしるしであると言われます。私たちはそのしるしを日常の中で立ち止まり、どこに見つけることができるでしょうか。そのことを問いつつ、救い主イエスさまをお迎えする心備えをいたしましょう。

<2021年11月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
12名	メン 7名 メネット 1名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 8名	75 % (メーキャップ 2名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<12月の行事予定>

ASF ファミリーファスト

日	曜	時間	行事内容	場所
7	火	19:00	第92回 Y-Ys 協議会	中央 Y606 教室 Zoom 併用
18	土	15:00	横浜 Y クリスマス礼拝 兼 第一例会	紅葉坂教会 You Tube 配信
23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

しい。リスクに敏感な法律家の習性か、もともとが楽観的でない性格からか、個人的には馬鹿にできない数字だと思わざるを得ない。また、先述のように、因果関係が評価できないすなわち「ワクチンを打たなくても、1週間とか1か月後にたまたま死んだであろう」人が千数百人いるということに、不自然さを感じざるを得ない。

ワクチンについては、種々の陰謀論とされる主張が存在する。そのような主張を捨象しても、現在の動かし難い数字の評価だけでも、ワクチン接種をちゅうちょする人はいておかしくない。しかし、実際には、ワクチンパスポート（日本ではワクチン検査パッケージなどと表題を変えているが、本質は同じである。）と称して、ワクチン非接種者の排除がなされようとしている。すぐに頭に浮かぶのが、暴排条項である。下手をすると、暴力団より広い分野で、いわばワクチン非接種者排除条項が現れるのではないかという懸念がある。

YMCA も、人との接触を本質的な業務としているので、ワクチンについてはジレンマがあるであろう。ただでさえ財政的に厳しい中で、感染させないかどうかはともかく、客の安心感を引き出す、客をつなぎとめるためには職員にワクチンを打たせたいだろう。併せて、非接種者の客を受け入れないインセンティブもある。ただ、ワクチンが任意である限り、ワクチンに不安を感じて接種しない人を排除することは許されない。もちろん、根本的に、アレルギー等で打てない人もいる。全ての人を受け入れる、誰一人取り残さないという理念に背馳することになる。したがって、接種者に割引をするのがせいぜいと考えられる。

本ブリテンは常議員も御覧になるものであるが、ワクチンパスとの向き合い方については、近いうちに YMCA でも問題となるはずであるから、今から考えていただきたい。

なお、拙稿は、ワクチンを接種する選択をした人を非難したいわけではない。現在出ている情報からすれば、接種するのは通常の選択であり、その選択を尊重すべきは当然である。ただ、接種しない選択もまた、尊重されるべきという意

図である。

「11月例会報告」

齋藤 宙也

日時：11月11日（木）18:30～20:30

場所：Zoom によるオンライン会議（古田、青木は中央 Y）

出席者：青木、秋元、伊藤メン・メネ、大高、古賀、齋藤、古田

新型コロナウイルス感染拡大はやや収まっているものの、大事を取って、基本的にオンラインで開催した。ただし、卓話者の青木ワイズ及び古田ワイズが横浜中央 Y に在室した。ワイズソングなどの後、今月の卓話が、横浜 YMCA 学院専門学校長の青木ワイズから、「横浜 YMCA と横浜ワイズメンズクラブのさらなる連携強化の模索第一弾」という題目でなされた。

ワイズメンズクラブは、YMCA をサポートすることを本質とするが、具体的に何をするのが良いか、サポートの受け手である YMCA 側から直接要望を聞き出すべく、このたびの卓話に至った。

青木ワイズからは、大別して、①専門学校から、②中央 Y から分けて、それぞれ種々の協力依頼がなされた。専門学校でいえば、留学生向け奨学金のほか、卒業式への出席、就職先・実習先の紹介、日用品の支援、チューターの依頼など、金銭的のみならず、物的的に様々な項目が登場した。中央 Y については、どちらかという（スポンサー探しも含め）金銭的支援の比重が大きかったが、交流や体験の場を提供するという点も提示された。

これを踏まえて、活発な質疑応答、議論がなされた。

奉仕活動をする団体にとって、どのように（人的、金銭的など）奉仕していくのかということとは、事業ごとに常に考えなければならないテーマである。会員の資源も、お金の余裕のある人、時間に余裕のある人、体力に余裕のある人、知恵なら出せる人など、様々である。

参考までに、ロータリークラブでは、内輪（世界全体）で寄附を集めて、奨学金やポリオ根絶などの奉仕活動をしている。しかし、クラブ単位の奉仕活動では、単にどこかに大口の寄附をすることは奨励されず、会員が何らかの形で自ら汗を流すような奉仕活動をすべきとされている。

今回、大まかな項目が提示されたことを受け、今後、クラブ内で、できるものを絞り込み、できることについての詳細を詰めることが期待される。1月に、第2弾の卓話も予定されており、注視していきたい。



例会終了後、恒例の記念撮影（スクリーンショット）が行われ、無事に例会は終了した。

「第2回部評議会報告」

古田 和彦

1. 開催日時・場所

2021年11月28日（土）15:00~16:30 於 横浜中央YMCA9階チャペル

2. 29名の出席（内、委任状は14名）

3. 全体司会は部書記の板崎淑子ワイズ（鎌倉）、議事の議長は若木部長

4. 議案とその採決結果

1) 第1号議案「次年度次期部長の選出について」 若木部長から次の説明と提案がなされた。

8月末まで立候補者、推薦者を公募したが応募者は無かった。そこで、部施行細則に基づきAグループ（横浜、鎌倉、横浜とつか、金沢八景）で検討した結果、黒川勝ワイズ（金沢八景）を候補者として推薦する。満場一致で承認した。

2) 第2号議案「CS支援金の支給について」 地域奉仕・YMCA サービス事業主査日下部美幸ワイズから次の提案がなされた。

鎌倉クラブ「ワイズカップ幼児サッカー大会」3万円、横浜とつかクラブ「点字絵本ライブラリー支援」3万円、横浜つづきクラブ「東日本大震災支援一つばめの杜保育所・みやま荘へクリスマスカードやリースを贈呈」2万円、合計8万円を支給する。特に質疑なく、承認された。

3) 第3号議案「湘南・沖縄部と横浜YMCA合同新年会について」 若木部長から、コロナ感染予防の観点から中止したいとの提案があり、異議なく承認された。

4) 第4号議案「有志による沖縄訪問について」 若木部長から次の説明と提案があった。

前期、沖縄クラブ・沖縄那覇クラブが解散した。今期、部としては沖縄YMCA支援を第1回評議会で決定したが、次期以降、支援を行うかどうかを検討するため、来年2月下旬ごろ沖縄を訪問し、沖縄YMCAや解散したクラブの方々の活動状況を視察したい。なお、コロナ感染拡大の場合は中止する。協議の結果、本提案を承認し、若木部長、加藤利榮、浦出昭吉（横浜とつか）、佐藤節子（厚木）、久保勝昭（横浜つるみ）各ワイズにて準備を行うこととした。

5) 第5号議案「部CS協力金について」 若木部長から次の説明と提案があった。

部CS協力金は、各クラブからの提出はやめ、各クラブで実施する事業に加算することが望ましいと考えるので、次年度から廃止したい。協議ののち採決され、賛成15名、反対11名で可決した。

6) 第6号議案「湘南・沖縄部『会員増強計画見直し』の件」 辻エクステンション委員長（板崎書記代読）から資料により次の説明と提案があった。

部としての会員増強計画では従来、部会員総数を150名とすることとしてきたが、沖縄の2クラブが解散したため、目標数を130名に変更したい。異議なく承認された。

5. 東日本区第2回役員会報告（部長）その他各事業主査報告、各クラブ会長活動報告、エクステンション委員会活

動報告が行われた。主な点は次の通り。

- ・2021-2022年度区大会 2022年6月3日~5日 於 ホテル東日本宇都宮
- ・Y's×SDGs Youth Action 事業承認・資金拠出（社会課題を解決しようとするユース世代の活動を推進、支援する。1プロジェクトに20万円まで可。）
- ・横浜クラブからは熊本スピリットクラブとの交流、大阪長野クラブ45周年への取り組みなどDBC関連の報告を行った。
- 6. 当クラブの出席者：古田（会場）、古賀、大高（委任状）
なお、マンスリーレポート11月号に、留学生とワイズの交流の紹介記事があると報告があった。

「チャリティーラン報告」

青木 英幸

横浜YMCAインターナショナル・チャリティーランがオンラインを利用して、2021年11月6日（土）~11月20日（土）の2週間開催されました。横浜YMCA学院専門学校からは、日本語学科、国際情報ビジネス科、作業療法科の3学科が参加をしました。

今回のチャリティーランはコロナ禍の影響で、歩数を個人で計測し、その歩数をホームページ上のチャリティーランのシステムに入力することでランキングを出していく形式でした。

歩数のみでのランキング化は初めての取り組みで、参加者全員が一同に集まることのない活動となりましたが、3学科の学生全員が日々励まし合いながら、毎日の運動を意識して参加をしていました。

横浜ワイズメンズクラブの皆様にチームスポンサーになっていただいた日本語学科の学生チーム『YOKOHAMA YMCA COLLEGE【Japanese Language】』は、留学生と他ビザ（家族滞在/日本人の配偶者など）で来日している学生の混合で参加をしました。

フォトコンテストでの入賞も目標にチーム全員で撮影も行いました。大会期間中の早い段階にチーム全員で放課後に集合して、チームワークを高めるため、みなとみらい地区と一緒に散策をしました。この活動がチーム一丸となって参加をする助けとなりました。同じクラスの学生は毎日お互いに声を掛け合いながら頑張り、ホームページ上のランキングも一

大さん橋にてチームで撮影



時は1位となり、大変盛り上がっていました。3学科のチームの総歩数は以下となります。

- 【日本語学科】 総歩数：1,194,150 歩
- 【国際情報ビジネス科】 総歩数：768,211 歩
- 【作業療法科】 総歩数：274,999 歩

なお、全体ラインキングの発表は12月に最終集計され行われます。

「ウエルカムフェスタ報告」

青木 英幸

横浜中央 YMCA では、昨年度はコロナ禍で中止したウエルカムフェスタを、今年度はかたちを変えて11月23日(火)～30日(火)まで「ウエルカムフェスタウィーク」と題して、オンラインを利用した「家族で楽しむ台湾ナイト」やハンドメイドクラフトの「プラ板レジンをつくらう!」、普段飛ぶことのできない大きなトランポリンを使用した「親子でトランポリン・トランポリンチャレンジ」と

様々なイベントが行われました。

11月23日(火・祝)秋晴れの中、10:00～14:00の時間

にウエルカムフェスタミニバザーが開催され、170名の方にご来場いただきました。

規模を縮小して館内の1階ロビー部分のみで行い、近隣企業様よりの献品や協賛品などの素敵な商品、東北・熊本などの復興支援の物産、パヤオクラフト、抽選券付ジュースなどが並び、密にならないようにスペースを確保しながら販売され、いつもYMCAに来ていただいているご家族や、初めてYMCAに立ち寄っていただいた皆様で賑わいました。

当日の売上げは149,510円となり、目標額の125,000円

を大きく上回りました。

なお、第2回目のミニバザーを12月19日(日)10:00～14:00で予定しております。当日の販売ボランティアとしての参加や皆様のご来館をお待ちしております。

「熊本スピリットクラブとの懇親会」

齋藤 宙也

11月26日、私が所属していた熊本スピリットワイズメンズクラブの福島ワイズと生駒ワイズが、横浜におみえになった。そこで、午後6時半から、廣東飯店で懇親会を設けた(当クラブ参加者：青木、秋元、大高、古賀、齋藤、古田ワイズ)。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2年近く、このような懇



親会から遠ざかっていた。ほとんどのメンバーにとって、飲食店において

対面で懇親会をしたのは久しぶりであった。スピリットの2人も、当クラブの参加者も、おおむね変わらない様子であることが確認できた。

乾杯の後、食事をしながら歓談をした。

いつになく話が盛り上がったように思う。具体的には、熊本におけるコロナ禍の災害支援の課題、横浜市をめぐる情勢、熊本のクラブの状況(合併も検討しているという話があったのは初耳であった。)、YMCAの他の団体と比べた特長、タイで現実に起きている人身売買の実相など、YMCAないしワイズの活動に関する話題が多かった。

酒の席上ではあるが、今後の活動方針を考えるに当たり有益なものがあったと思う。DBC締結のための懇親も深まった。スピリットクラブも、私が転出したときから6年半以上が経過し、メンバーが様変わりしているようである。福島ワイズと生駒ワイズとの付き合いは長いですが、スピリットのほかのメンバーとも早くお会いしたいと思う。

第二例会報告

古賀 健一郎

日時：11月26日(金) 18:00～18:30 (廣東飯店)

出席者：青木、秋元、大高、古賀、古田

《今後の行事予定の確認》

《協議・報告事項》

(1) 横浜クラブ例会 12月・1月

①『12月の第1例会』

『横浜 YMCA クリスマス礼拝』に参加 (横浜クラブ 12月第1例会も兼ねる)

★ 日時: 12月18日(土) 15:00~16:00

★ 会場: 日本キリスト教団 紅葉坂教会/又は You Tube 配信

②『1月の第1例会』

★ 日時: 1月13日(木) 18:30~20:15 (Zoom 又はハイブリッド?開催)

★ 例会内容

- ・『横浜 YMCA と横浜クラブのさらなる連携強化の模索 第二弾』
- ・卓話者: 阿部正伴さん (厚木 YMCA 館長及び湘南・沖縄部担当主事)
- (2) 横浜 YMCA インターナショナル・チャリティーラン
- ・「障がいのある子どもたちのプログラム参加を支援すること」を目的
- ・11月6日(土)~20日(土)の15日間でオンラインにて開催。今までの同一距離のタイムを競う形式ではなく、期間累計の歩数合計を競った。
- ・例年支援している学童クラブに加え、本年度は横浜 YMCA 学院専門学校の日本語学科チームの2チームを支援した。(5万円/チーム)
- (3) 大阪長野クラブが、来年創立45周年。
- ★2022年4月2日(土)午後 記念式予定 横浜クラブから代表者が出席予定。



担当主事 青木 英幸

11月の1カ月の間に、日本への入国を待っている留学生にとって様々な出来事が起こりました。緊急事態宣言解除後に留学生の入国がいよいよ再開され、COE(在留資格認定証明書)の交付を受けた順に行われる予定でした。

横浜 YMCA 専門学校3校でも、入国待機者59名の方々を対象に順次入国の準備を進めておりましたが、オミクロン株に対する水際措置の強化として11月30日以降、当面1カ月の間、外国人の新規入国を停止するという状態に一変してしまいました。

留学生の入国に関してやっと明るい兆しが見えてきた矢先でしたので、担当する教職員や入国待機中の留学生の気持ちは計り知れません。今はただ1カ月後の入国再開を信じて、正しい情報収集と発信を丁寧に行っていきたいと思っております。

横浜中央 YMCA の地域活動の一環として、認知症の方とご家族がゆっくりとくつろいでいただくことを目的とした認知症カフェ『つながる Café』をようやく11月20日(土)に開催できました。

今年度は3回実施予定でしたがコロナ禍において2回中止となり、今回は飲食のご提供は行わず、松毬でクリスマスツ

リー作りを行いました。

英語クラスメンバーやウエルネススポーツクラブの体操メンバー等10名にご参加いただき、保護者の方に『つながる Café』の内容案内やボランティア募集を行う機会となりました。

アドベントを迎え、横浜中央 YMCA 1階ロビーに「イエスの誕生ディスプレイ」が飾られております。12月に入り4日(土)に横浜 YMCA 専門学校クリスマス礼拝、18日(土)に横浜 YMVA クリスマス礼拝が実施されます。

皆様と共に素敵なクリスマスが迎えられるようお祈りいたします。



クリスマスリース作り

12月例会プログラム

日時: 12月18日(木) 15:00~16:00

場所: 紅葉坂教会

横浜 YMCA クリスマス礼拝』に参加

Happy Birthday 古田 伽知子

例会報告: 古賀ワイズ



1月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
13	木	18:30	横浜クラブ第一例会	Zoom
27	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 青木英幸にご連絡下さい。

メール aoki_hideyuki@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080